

別紙 1

県立学校における対策の強化（2/7～2/28）

- 1 本人や同居家族に風邪症状等（頭痛、のどの痛みや違和感、鼻のつまり、だるさ、味覚や嗅覚の異常、発熱、その他いつもと違う症状）が見られる場合、児童生徒及び教職員が登校または出勤しないことを徹底する。
- 2 各教科等については、「感染対策を講じてもなお感染リスクが高い学習活動」を控える。
- 3 学校行事等は原則中止・延期する。ただし、次については、学校の実情に応じて慎重に検討する。
 - (1) 旅行・集団宿泊行事
 - ①感染状況を見極めながら、実施方法の適切な変更や工夫について検討するなどの配慮をする。
 - ②家族等に発熱・体調不良者がいる児童生徒は、修学旅行等への参加を取りやめてもらうなどの配慮をする。
 - (2) 儀式的行事
開催方式の工夫を講じる。
- 4 オープンキャンパス、会社説明会、受験等、生徒の進路に係る県外移動については、感染対策に万全を期して行うこととし、オンライン等での参加が可能な場合は、参加方法を検討する。
- 5 各校の実情を踏まえ、学校生活のあらゆる場面において可能な限り密を避ける対応を徹底する。

[取組例]

- ・ 空き教室、実習室等を利用して、1クラスを2つに分けて授業を行う。（課題の工夫、オンライン配信等）
 - ・ 昼食をとらずに下校できるよう、午前授業や短縮授業を行う。
 - ・ 短縮授業を組み合わせ、時差登校や分散登校を行う。
 - ・ トイレ等での密集を回避できるよう、クラスによって休み時間をずらす。
 - ・ スクールバス等での車内換気の徹底 等
- 6 部活動について
 - (1) 活動
原則禁止とする。
ただし、(2)の①に示す大会に出場する場合は、最少限の人数で週3日以内（大会等当日の14日前から「運動部活動の指針（平成30年12月）」及び「青森県文化活動の指針（令和元年8月）」に基づく日数）の活動ができる。
 - (2) 対外試合
 - ①公式試合
原則禁止とする。
ただし、青森県高等学校体育連盟、青森県高等学校野球連盟、青森県高等学校文化連盟、青森県中学校体育連盟及び青森県中学校文化連盟並びにこれらの団体の上部組織の団体が主催又は共催する大会、各競技団体（協会・連盟）が主催する大会のうち、今年度中に開催される全国大会・東北大会やそれら上位大会につながる県大会に限り、事前に主催者が講じる新型コロナウイルス感染防止対策や会場となる地域（都道府県、市町村）の感染状況及び対応制限等を確認し、慎重に判断した上で参加可能とする。
- <補足>
- 参加に当たっては、原則、宿泊を伴わないこととする。ただし、公式試合等について、移動時間が長い場合等もあることを踏まえ、児童生徒の健康や安全を確保す

る観点から宿泊が不可欠だと校長が認める場合には、最小限の範囲で可能とする。
なお、宿泊する場合には、適切に感染防止対策を講じること。

②公式試合等以外

他校との試合（練習試合を含む。）は禁止する。

【大会等参加に当たっての留意事項】

A 一般的な事項

- a 毎日こまめな健康チェックをし、本人や同居家族に風邪症状等（頭痛、のどの痛みや違和感、鼻のつまり、だるさ、味覚や嗅覚の異常、発熱、その他いつもと違う症状）が見られる場合は、参加しないこと。（簡易検査キット等で陰性の場合も、風邪症状等がある場合は参加しない。）
- b 競技（運動）の合間や更衣室ではマスクを必ず着用すること。
- c 声援、指示など大声を出さないこと。
- d 公共交通機関利用後やエレベーター等、不特定多数の人と共用する箇所に触れた場合は、すぐに手洗い又はアルコール消毒を行うこと。
- e 更衣室等、換気の不十分な場所での長時間の滞在を避けること。
- f 移動の際も含めて、マスクを外した状態での会話は避けること。
- g マスクを外す飲食の場面では、特に注意し、3密にならないよう十分な距離を確保し、なるべく場所など工夫すること。
- h 大会後2週間は、毎日検温し、健康観察を徹底することとし、体調不良の場合は、自宅で療養し、気にかかる症状等があれば、かかりつけ医※に相談し、指示を仰ぐこと。

※ かかりつけ医がない、相談先がわからない場合は、県コールセンターに問い合わせること。

B 全国・東北大会に係る留意事項

別紙2のとおり。

(3) 合宿（学校単独で行うものも含む。）は禁止する。

(4) 練習等活動時の留意事項

① 活動する部員は、大会参加メンバー（エントリー）を基本とし、最少人数での活動とする。

② 健康観察の徹底

毎日こまめな健康チェックをし、本人や同居家族に風邪症状等（頭痛、のどの痛みや違和感、鼻のつまり、だるさ、味覚や嗅覚の異常、発熱、その他いつもと違う症状）が見られる場合は、参加しない。

③ 密集場面の回避多くの人数が密集する場面で感染リスクが高まると言われていることから、更衣室等も含めて、人数制限を設けるなど密集しないようにするとともに、換気を徹底する。

④ 場面の切り替わり時のリスク回避練習メニューが変わる場面やミーティングの際に、生徒が密接しないよう距離をとり、大声を出さない。

⑤ 部活動に付随する場面での対策の徹底

部活動終了後に、車座になって飲み物を飲みながら会話したり、食事を行ったりした際に感染が広がることを防ぐため、部活動前後での集団での飲食は控えるとともに、人との接触を避ける観点から、部活動終了後は速やかな帰宅を促す。

7 外部人材の活用について

外部人材（日常的に来校し、指導に当たっている者を除く。）の来校による直接の指導は原則禁止とし、必要な場合は、映像配信やオンライン等により実施する。

ただし、児童生徒の健康・安全に係る行事等のための活用については認める。

8 学校外における文化・スポーツ団体での活動等について

軽微な場合でも平常時の体調と異なる場合は、参加しないこととし、参加する場合は、各自が感染防止対策の徹底に努める。